

まめなかい

第10号



しまね通信

- P1 ● 原副会長 就任あいさつ
- P2 ● 老連創立60周年記念 知事を囲んでの座談会
- P3 ● 県老連の Mascot 名称決定！ ● 地域意見交換会報告
- P4 ● 県へ要望書提出
- P5 ● 全老連創立60周年記念大会
- P6 ● 市町村老連代表者会議
- P8 ● 県老連60周年記念事業 「まめなかいしまねグラウンド・ゴルフ大会」開催
- P9 ● セミナー・研修会
- P10 ● 各種表彰
- P12 ● しまねすまいるdaysの発行

発行

公益財団法人 島根県老人クラブ連合会 (愛称:まめなかいしまね)
〒690-0011 島根県松江市東津田町 1741-3 TEL0852-32-5971 FAX0852-32-5982



『就任のあいさつ』

副会長 原 洋子

(出雲市高齢者クラブ連合会 副会長)
大社町高齢者クラブ連合会 会長

「みなさん こんにちは」島根県老人クラブ連合会副会長の原洋子です。住所は出雲市大社町、年齢は、「奥さんは元気ですが、何歳ですか？」「74歳です。」「まだ若いですがネ、私とその年の頃は働き盛りでしたわ!」と80歳過ぎの方に言われます。歳は追いつくことはできませんが、私のパワーで相手の方の活力になればと思います。性格は人が好き、そしてよく喋ります。

さて、県老連は19市町村の連合会、単位老人クラブは901クラブ、会員は38,030人(R4.4.1現在)です。「健康・友愛・奉仕」の全国三大運動を踏まえて活動をしています。特に近年は、会員減少が問題視されており、取り上げなければならないのが現実ですが、こうした

中で、会員増を成しておられるクラブもあります。私は、一人一人の方に直接話をして、加入を促しています。

住み慣れた地域で「この地で良かった。」と思い、安心して暮らせる活動を副会長の任を受け、気負うことなく会員のみなさまの地元の声に耳を傾けて、全うしたいと思います。

「ケセラセラ」、私の好きな言葉の一つです。映画「風と共に去りぬ」でスカーレットオハラが発した「ケセラセラ」、またヒチコック監督の「知りすぎている男」の主題歌、ドリス・ディが歌った「ケセラセラ」。「風と共に去りぬ」では、明日は明日の風が吹く、「知りすぎた男」では、なるようになるさ。先のことなど誰にもわからない、人生はなるようにしかならないと訳されがちですが、その実は、人生 自分次第でどんなふうにももつっていけるそうです。

皆さんに「まめなかね!」「まめねすか!」の声かけを忘れず、一日が終える時には一日無事に終えることができたことに感謝し、来る明日に期待できるように、副会長を務めたいと思います。

わたしたちは 島根県老人クラブ連合会の活動をサポートしています



老人クラブの社会的役割とは？

(公財) 島根県老人クラブ連合会は、創立 60 周年を期し、丸山 達也県知事と県老連代表者とが、島根県庁 301 会議室に一堂に会し、これまでの活動を振り返りながら、老人クラブの社会的役割について意見交換を行いました。

12月14日(水)、県老連創立60周年を記念し、県知事を囲んでの座談会を行いました。安達 伸次会長、原 洋子副会長、竹邊 正人副会長、伊藤和子女性委員長と平岡 昇常務理事が出席し、県老連の歴史の振り返りをはじめ、老人クラブの活

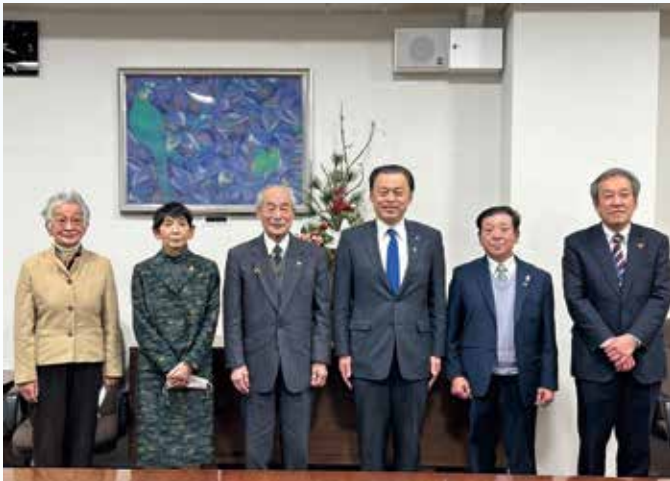
動や取り組みについて、知事に知ってほしいことや応援してほしいことなどを説明しました。

知事には、老人クラブの地域における社会的役割についてご理解とエールをいただき、「老人クラブ活動は、地域にとって欠かせない活動であり、県としてもサポートしていきたい」といったご意見もいただきました。

本会の取り組みについて、知事よりご意見をいただく機会となり、一層の老人クラブ活動の活性化につなげていきたいと思ひます。

まめなかいしまね通信

2



丸山県知事と記念撮影



座談会の様子

わたしたちは 島根県老人クラブ連合会の活動をサポートしています

○名前について

健康・元気・長寿の意味を込めた「まめ」のキャラクターで、地元の「しまね」も想起できるように、親しみを込めて「しまめさん」と名付けていただきました。

しまめさんに決定!!

☆県老連創立60周年を記念し、丸山県知事にキャラクターの名付け親をお願いしました。

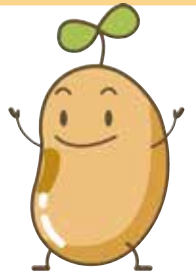
2月14日(火)、キャラクター名が知事から発表されました。



命名：丸山県知事と本会安達会長

愛称：「まめなかいしまね」は、本会のイメージアップとイメージチェンジを図ることを目的に公募し、島根らしい、「まめなかい」が「会」と「呼びかけ」と両方の意味を兼ねているという理由で、親しみやすいものとして、平成17年3月に決定しました。

本キャラクターは、平成30年9月に本会広報誌を「まめなかいしまね通信」としてリニューアルをした時からマスコットキャラクターとして登場しています。



地域意見交換会を開催しました

当面の課題について意見交換(出雲市)



本会安達伸次会長 あいさつ 開催しました。

9月14日(水)に出雲市へ正副会長と常務理事が出かけ、各地域での活動状況や課題について話し合いました。

出雲市高齢者クラブ連合会〔竹下 茂会長、会員数10,345人、213クラブ(R4.4.1)〕では、7つの支部があり、各支部の会長から各支部で

コロナ禍の中、研修会、グラウンド・ゴルフ、健康体操や健康教室といった健康づくり・介護予防活動、サロン開設による集いの場づくりなど、活発な活動をされているようすをお話いただき、会員加入促進、会の活性化に向けた取り組みや活動上、特に課題となっていることや行政との懇談会について意見交換しました。

本会の取り組みについてご意見ご要望をいただく機会となり、今



意見交換会の様子

後の事業展開に反映させていきたいと思っております。

わたしたちは 島根県老人クラブ連合会の活動をサポートしています

県知事へ要望書を提出しました

県知事へ要望書提出

クラブの現状と課題 意見交換

本会は高齢者の中核組織として県・市町村老連が一体となって、行政に対する提案・要望活動を行っています。

今年度は、10月17日（月）に安達会長、原副会長、竹邊副会長、平岡常務理事が、県庁を訪れ、健康福祉部長室において県知事への要望書を安食 治外部長へ手渡しました。

要望事項は①地域活動の実態に応じた支援について②老人クラブ活動の促進等についてです。

その後、安食部長、昌子 裕次長および、主管課である高齢者福祉課長 岡本 成生課長と、要望事項や老人クラブの現状と課題等を中心に意見交換を行いました。

老人クラブの現在の実態や変化、また地域との関わり、これからの老人クラブのあり方について意見交換を行い、さまざまな地域活動に取り組む老人クラブ活動に対して、ご理解と今後の期待をいただきました。



県健康福祉部 安食治外部長へ
要望書を提出



意見交換会の様子



写真左から、原副会長、安達会長、
竹邊副会長、平岡常務理事

本会ホームページのご案内

お知らせ、市町村老連の連絡先、各地域の活動等をホームページで紹介しています。事例集等、資料のダウンロードもできますので、ご活用ください。

<https://www.mamenakai-shimane.or.jp/>

まめなかいしまね

検索



わたしたちは 島根県老人クラブ連合会の活動をサポートしています

60周年記念盛大に

11月8日(火)、東京都墨田区国技館において「全国老人クラブ連合会創立60周年記念全国老人クラブ大会」が開催されました。

天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、全国から850名余りが集い、本県からは安達会長をはじめ10名が参加しました。



写真提供：全国老人クラブ連合会

天皇陛下おことば

全国老人クラブ連合会の創立60周年記念全国大会に、皆さんと共に出席できることをうれしく思います。老人クラブは、戦後の厳しい状況の中、高齢者自身が作り上げたものであり、各地の老人クラブが、健康、友愛、奉仕を柱とした様々な活動に取り組み、それぞれの地域に明るい長寿社会を築くことに寄与してきました。関係者の60年にわたるたゆみない努力により、老人クラブが全国に普及し、各地において、高齢者がお互いに助け合いながら、健康の増進や相互の支え合い、住みよい地域づくりに貢献してきたことは大変意義深いことと思います。この度、表彰を受けられる皆さんを始め、多くの

第一部式典では、厚生労働大臣表彰、全国老人クラブ連合会会長表彰が行われました。続いて、アトラクションの全日本相撲甚句協会による相撲甚句が披露された後、第二部として作家の阿刀田高氏による「老いてこそユーモア」と題した、記念講演が行われました。

来年度、第52回全国老人クラブ大会は、令和5年11月8日(水)～9日(木)秋田県秋田市で開催されます。



全国大会に参加された表彰受章者
※左から 北町北寿会 深田 幸悦 会長、
竹矢寿会連合会 藤井 康夫 副会長、
本会前女性委員長 山田 明子 氏

関係者の尽力に対し、深く敬意を表します。高齢者の方々には、近年、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、大変に御苦労が多かったものと思います。そのような中であって、老人クラブの皆さんが創意や工夫をこらし、子どもたちや若い世代とも交流しながら、積極的に社会参加を進められていることを、頼もしく思います。

今後とも、皆さんのこれまでの経験と知恵を若い世代に伝えつつ、老人クラブが、我が国における高齢者の社会参加や明るい地域づくりのために、重要な役割を果たしていくことを期待しております。

これからも、皆さんが健康に十分留意されながら活躍されることを願い、大会に寄せる言葉といたします。

わたしたちは 島根県老人クラブ連合会の活動をサポートしています

17市町村オンラインで結ぶ

老人クラブとして取り組んでいく活動や直面する諸課題について、共通の認識を形成し、ともに活動を高めていくため、1月17日（火）、オンライン（Zoom）を利用した参加6町村を含めた17市町村老連の代表者が会し、松江エクセルホテル東急（松江市）において開催しました。

第一部は、伝達および表彰を行いました。はじめに、多年に渡り、県老連監事、市町村老連役員として老人クラブの発展に寄与した功績により、厚生労働大臣より表彰された船附 克己 氏（浜田市）の伝達表彰を行いました。

続いて、他の参考となる活動を先進的に行い、なかでも優れた活動により本会「活動賞大賞」を受賞された4団体へ安達会長より表彰状と副賞が授与され、あわせて全国老人クラブ連合会「活動賞」の伝達表彰を行いました。



船附 克己 氏（浜田市）



大庭地区寿会連合会（松江市）
会長 荒木 邦典 氏



高浜地区慶人会（出雲市）
会長 新田 良一 氏



八川寿会（奥出雲町）
会長 小早川 貞利 氏



阿井地区老人クラブ（奥出雲町）
影山 豊幸 氏

わたしたちは 島根県老人クラブ連合会の活動をサポートしています



(公財) 横浜市老人クラブ連合会 常務理事・事務局長 竹前 大 氏



会議の様子



本会 正副会長 常務理事



事業報告：本会 原 洋子 副会長



事業報告：本会 竹邊 正人 副会長

第二部は、公益財団法人 横浜市老人クラブ連合会の常務理事・事務局長 竹前^{まさる} 大氏による「老人クラブの活性化～横浜市老連の取り組み～」と題した、ご講義をいただきました。参加された市町村老連の代表者の方から、「老人クラブの存在意識も含めて、老人クラブ活性化の取り組みや会員減少に対して効果のあった対策など具体的でわかりやすかった。」「大都市横浜の取り組みに興味があった。老人クラブとして広く地域を巻き込むことの大切さもよく理解できた。」など感想をいただきました。

この後、正副会長、事務局から各事業の報告を行い、今年度事業実施状況の報告や次年度事業について、活発な意見交換が交わされました。

わたしたちは 島根県老人クラブ連合会の活動をサポートしています

まめなかいしまねグラウンド・ゴルフ大会を開催しました

島根県
老人クラブ連合会
創立60周年
事業



65チーム
263名が
熱戦



試合の様子

11月28日(月)、晴天に恵まれ、「出雲ドーム」を会場に、会員をはじめとするシニア世代が集い、グラウンド・ゴルフ大会を開催し、県下18市町村より選ばれた65チーム・263名が参加されました。

今年は、県老連創立60周年記念大会として開催のため、受付において選手の皆さまに記念品(クリップ&マーカー)をお配りしました。

開会式では、来賓の丸山県知事をお迎えし、あいさつをいただきました。

この大会は、本会女性委員・若手委員が企画から当日の駐車場誘導・受付・イベント運営等、共催団体である出雲市高齢者クラブ連合会の会員がコース設営・用具手配や選手の誘導、邑南町老人クラブ連合会の会員が組合せやスコアカードの作成から当日の集計と会員による企画・運営を行っています。

選手はもとより、大会役員や共催団体の会員もグラウンド・ゴルフ大会の開催を通じて、親睦を深めました。



丸山県知事 来賓あいさつ



選手を代表して宣誓を行う
山本 稔氏(出雲市)



参加賞



個人優勝の原選手



団体優勝のひかわ寿昌クラブチーム(出雲市)

上位成績 ゲーム方法：8ホール×2ラウンド(団体は1チーム4名)

団体

個人

順位	チーム名	市町村	得点	順位	氏名	市町村	得点	順位	氏名	市町村	得点
優勝	ひかわ 寿昌クラブ	出雲市	141	優勝	原 忠志	出雲市	25	第6位	落合 孝吉	雲南市	31
準優勝	広瀬富田	安来市	141	準優勝	馬庭 保夫	大田市	26	第7位	飯橋 寿美	安来市	31
第3位	平田	出雲市	144	第3位	植村 清治郎	出雲市	29	第8位	小林 秀穂	川本町	32
				第4位	山田 康弘	出雲市	30	第9位	坂田 己吉	安来市	32
				第5位	西村 善典	松江市	30	第10位	山下 淳	津和野町	33

セミナー参加報告 高齢者の健康づくり・生活支援セミナー

12月2日（金）、全国老人クラブ連合会主催のセミナーが開催されました。

研修内容は、基調報告「老人クラブが取り組む健康づくり活動・生活支援」、地域支え合い「地域で取り組む健康づくりと支え合い」健康（歯・口腔）「口のささいな衰えを見逃すな」、（運動）「高齢期の運動による健康づくり・介護予防」についてでした。

参加された本会若手委員 佐野 健一郎 氏は、「各講義における講師の方が著名人であり、講

義内容も素晴らしく、極めて有意義な時間を得ることができました。講義資料を読み返し、老人会活動に反映させていく所存です。」と感想をいただきました。

若手委員 佐野 健一郎 氏
（奥出雲老連 単位クラブ会長）



令和4年度 健康づくり推進員養成研修会を開催しました

3会場で実施 オンラインも



研修会（宮國 康弘 氏）

隠岐会場 [10月14日（金）] は隠岐島文化会館、西部会場 [12月23日（金）] は江津市総合市民センター、東部会場 [1月20日（金）] は松江合同庁舎を会場に開催し、各市町村から会員28名、会員外24名の計52名が参加されました。

日本福祉大学社会福祉学部講師の宮國 康弘 氏には、オンライン講義により、「認知症予防のすゝめ」についてデータに基づいたお話をいただきました。

実技では、島根県レクリエーション協会 栢野 和美 氏、梶谷 清美 氏により「『新しい生活様式』を取り入れながら実践する健康づくり・介護予防」について、新聞やペットボトルキャップ等を使用したレクリエーションを教えてください、実際に手足を動かして、参加者の皆様は笑顔があふれ、会場は盛り上がりました。



研修会（栢野氏、梶谷氏）



オンライン講義（質疑応答）の様子



実技（東部会場）



いきいきクラブ体操（隠岐会場）



実技（西部会場）

令和4年度 島根県教育優良団体表彰式

教育優良団体として 久利町寿会表彰

学校教育分野や社会教育分野等において功績が顕著な個人・団体を表彰する令和4年度教育功労者及び教育優良団体表彰式並びに優れた教育活動表彰式が11月1日(火)、サンラポーむらくも(松江市)において開催されました。

地域の子どもたちとの合同活動を通じて、世代間交流による子どもたちの健全育成の取組に尽力し、社会教育の推進に寄与した功績により、教育優良団体として大田市の久利町^{くりにちょう}寿会^{ことぶさかい}が表彰されました。



県教育委員会 野津 健二 教育長から表彰状を授与される
久利町寿会 福田 幸司 会長

くりにちょうことぶさかい
久利町寿会(大田市) 代表者 福田 幸司 会長

○組織概要 会員数:185名 設立:昭和39年

○功績概要

地域の保育園・小学校の子どもたちとの世代間交流事業をはじめ、地域の福祉施設利用者との交流を図っています。また、役員による独居高齢者宅の見守り訪問活動等のボランティア活動にも取り組んでいます。

令和4年度 島根県各種功労者表彰式

地域伝承に尽力 北町北寿会表彰

11月16日(水)、サンラポーむらくも(松江市)において、島根県各種功労者表彰式が執り行われ、

老人クラブからは、雲南市の北町北寿会^{きたまちほくじゅかい}が表彰されました。



丸山県知事から表彰状を授与される
北町北寿会 深田 幸悦 会長

きたまちほくじゅかい

北町北寿会(雲南市) 代表者 深田 幸悦 会長

○組織概要 会員数:49名 設立:昭和38年4月

○功績概要

地域の若者会である北友会や小学校等と連携し、地域の文化伝承をはじめ、様々な活動に積極的に関わっています。なかでも450年近く伝統のある大東七夕祭りに欠かせない西瓜提灯づくりは、およそ20年に渡り、地域に飾られる提灯づくりを一手に引き受けています。また、七夕祭り、笹巻やとんど祭り等の行事を若い世代や子どもたちへ伝承しています。

わたしたちは 島根県老人クラブ連合会の活動をサポートしています

令和4年度 島根県県民いきいき活動奨励賞表彰式

精力的な活動が評価



丸山県知事から表彰状を授与される
大庭地区寿会連合会 荒木 邦典 会長

特に地域社会への貢献度が高い活動団体を表彰する「令和4年度 島根県県民いきいき活動奨励賞 表彰式」が11月21日(月)、県庁(松江市)において開催され、松江市の大庭地区^{おおばちく}寿会連合会^{ことぶきがいれんごうかい}が丸山県知事より表彰されました。



^{おおばちくことぶきがいれんごうかい}

大庭地区寿会連合会(松江市) 代表者 荒木 邦典 会長

○組織概要 会員数：187名 設立：昭和31年4月

○功績概要 住み慣れた地域で暮らし続けるために、高齢者自らが活躍する地域づくりを行っています。組織改革を行い、リーダー育成、交通安全運動をあわせた加入促進活動、サロンの開催、友愛活動訪問の強化、フォトコンテスト開催、環境整備等、多くの会員を巻き込み精力的に活動を行っています。

令和4年度 しまね流福祉のまちづくり知事表彰式

地域密着 長年の活動が評価

自治会区福祉活動への関心を一層高めるとともに、その活動に取り組む団体への社会的評価を高める目的で、特に優れた活動を表彰する「令和4年度 しまね流福祉のまちづくり活動団体知事表彰式」が、1月31日(火)、島根県県庁講堂において執り行われました。

老人クラブからは、奥出雲町の亀嵩地区高齢者クラブが丸山県知事より表彰されました。



丸山県知事から表彰状を授与される
亀嵩地区高齢者クラブ 土屋 武雄 会長

^{かめだけちく}

亀嵩地区高齢者クラブ(奥出雲町) 代表者 土屋 武雄 会長

○組織概要 会員数：126名 設立：昭和50年4月

○功績概要 設立当初の頃から、地域の高齢者施設とスポーツ大会を通じた交流を長年継続しています。毎月開催するサロンを活用した健康づくり・介護予防活動や、年1回の医療専門職による出前講座等、活動しています。また、地域の文化祭における「健康診断」実施は、老人クラブのPRにもつながっています。

わたしたちは 島根県老人クラブ連合会の活動をサポートしています

健康で楽しいセカンドライフを送るのに役立つ情報や、創作発表の様子が紹介されています。元気に明るく活躍する県内の人や団体の姿を通じ、人生100年時代の生き方の参考となる情報、老人クラブ活動等を通じて活躍される方々についても掲載されていますので、ぜひ、ご覧ください。

※ Vol.12 は、3月20日に発行されました。(山陰中央新報)
 ※ 「しまねすまいる days」は、本会ホームページ「お知らせ」からご覧いただけます。

しまねすまいる days

実施者：島根県

発行：株式会社 山陰中央新報社
 (年4回)



企画・取材：

島根県高齢者福祉課

(社福) 島根県社会福祉協議会

(公財) 島根県老人クラブ連合会

(株) 山陰中央新報社

※山陰中央新報に折り込み(タブロイド版)

Vol.12 3月20日(月)発行
江津市老連(江津本町鶴亀会)
健康マーじゃん同好会 取材の様子

2月11日(土)、江津市江津本町鶴亀会(梅田^{うめだ}修秀^{のぶひで} 会長22名)は、令和3、4年度の県老連「老人クラブ活動活性化交付金」を活用し、用具を購入、令和4年1月に「マーじゃん同好会」を立ち上げ、月2回、9名(会員7名、会員外2名)が近くの交流館に集まり、楽しく活動しています。

梅田会長は、「コロナ禍前は、健康体操やサロン等で集まっていたが、すべて中止にしたため会員の集まる場がなくなった。会員外にも声かけをし、会員の健康づくりや会員加入促進につなげようと同好会を作った。今後も続けていきたい。」と話しておられました。



健康マージャンの様子



健康マージャン同好会の皆さん

わたしたちは 島根県老人クラブ連合会の活動をサポートしています
